



言葉や文化は違えど、

心を通わし繋がって行くと肌で感じた21日間

— 姉妹都市高校生ホームステイ事業 —



(後列左から) マリナ・カードウェルさん アレクサンドラ・ラローンジさん タホ・バティスタさん マイケル・ロペスさん プリアナ・ワーチャットさん (前列右) キム・チ・クワクさんと(前列左から5人) ホストファミリーの学生のみなさん (7月26日フェアウェルパーティ)



(7月28日 帰国前に全員で記念撮影)



新府の桃をもってにっこり!
(7月23日桃狩り体験)

昭和63年から始まった葦崎市と姉妹都市を結ぶアメリカ合衆国カリフォルニア州フェアフィールド市との相互交流事業で、毎年7月にフェアフィールド市の高校生が、来菲しています。本年も7月8日から28日の期間に6名の高校生と引率者が本市を訪れ、市内のホストファミリー宅に滞在しながら、陶芸やそば打ちといった日本文化の体験や、本市学生との交流などのほか、京都・奈良・広島での研修旅行等をおこないました。フェアフィールド市の高校生にとって初めての異国でのホー

ムステイとあって、言葉の違い、文化風習の違いなどさまざまな連続だったと思いますが、ホストファミリーの心あたたまるおもてなしに、すでに葦崎での生活習慣にも慣れてきた様子でした。

受け入れる側のホストファミリーの皆さんにとっても緊張の連続だったと思いますが、最終日は涙無しにはいられない別れとなり、この事業に関わったすべての方にとって充実した21日間だったことが、その表情からもうかがい知ることができました。



無の境地!
(7月10日葦崎西中での書道体験)



初体験の陶芸に悪戦苦闘
(7月9日 陶芸体験)



茶道の心は、おもてなしの心 (7月10日 韮崎工業高校での茶道体験)



俺達の友情は永遠だ!!
(7月25日 富士急ハイランド)

ホームステイを体験した皆さんから、感想をいただきました。(抜粋)

タホ・バティストさん
日本に住みたいと思うほど楽しい時間を過ごせました。ホストファミリーの方々がとても優しく、特にホストマザーの料理が美味しかったのが忘れられません。

マリナ・カードウエルさん
ホストファミリーや職員の皆さんがいい人ばかりで、研修などすべてが楽しかったです。韮崎市はきれいで、親切な街だと感じました。

アレクサンドラ・ラローンジさん
私はホストファミリーも韮崎市も大好きです。この旅のどこをとっても大好きな事ばかりです。



初ながしそうめん!
(7月26日フェアウエルパーティ)

マイケル・ロペスさん
私のホストファミリーは最高です。この家族に受け入れてもらえた事が嬉しく、楽しい時間を過ごせました。

キム・チ・クワクさん
素晴らしい文化を体験し親切な人に出会うことができました。ホストファミリーが大好きで、一生忘れることができませぬ。

ブリアナ・ワーチャットさん
あつという間に過ぎてしまいました。具合が悪くなったとき、ファミリーが世話をしてくれて、まるで自分の家にいるかのようでした。

キャロル・ナックさん(引率者)
ホストファミリー・研修・食べ物・学校訪問・文化体験などすべてが素晴らしいです。親切でやさしさを感じた街でした。

今度はきみの番だ!
フェアフィールド市へ
行こう!



姉妹都市フェアフィールド市との交流を深めるとともに、一般家庭へのホームステイを通じて、様々な人と接することにより、国際的な感覚を持った人材を育成するため、市内在住の中高校生を対象に、フェアフィールド市への派遣学生を募集します。

■ホームステイ期間

平成26年12月20日(土)～

平成27年1月11日(日)

《23日間※予定》

■募集人員

中・高校生6名《予定》

■募集期間

9月1日(月)～16日(火)

※後日、面接試験を行い、派遣者を決定します。

■参加者負担金

15万円程度(過去実績)

■申し込み・問い合わせ

国際交流実行委員会

(企画財政課企画推進担当内)

(内線3056)